

科目ナンバリング		G-LAS15 80014 SJ37					
授業科目名 <英訳>	外国語教育論演習2 Seminar on Foreign Language Education 2				担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 中森 誉之	
群	大学院横断教育科目群		分野(分類)	複合領域系		使用言語	日本語
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	水1		配当学年	大学院生
						対象学生	全学向
(人間・環境学研究科の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)							
[授業の概要・目的]							
「新しい統合型の英語技能学習指導」 ことばとしての外国語を学習していくための、効果的かつ効率的な学習指導について検討します。 これまでの英語教育を概括し、これからの英語教育を展望しつつ、基礎から発展まで、幅広い視座 と深い見識を身につけることを目的とします。							
[到達目標]							
この授業では、現在までの自らの外国語学習経験を振り返りながら、言語技能（聴解・発話・読解・作文）の学習と指導について体系的に考究していきます。小学校・中学校・高等学校の段階的な技能統合の在り方を検討し、訳読・翻訳技術に傾斜しない、認知科学に根ざした最新の考え方を提供します。段階的な言語処理能力育成の観点から語彙と文法をとらえ、技能との関係性を追究していきます。 この授業では、学習対象言語を英語として講じていきますが、適宜受講者が興味関心のある外国語に置き換えて考察してかまいません。 1)英語授業の構成要素を幅広く理解できる 2)学習者のつまずきの発#12178と対策を理論的に考究できる 3)英語の#12180語技能とは何かについて多角的に理解したうえで段階性に従った効果的かつ効率的な指導理論を探究できる 4)実際の(あるいは架空の)指導上の問題を研究する際の#12095続きを考案できる							
[授業計画と内容]							
1．従来の英語教育を概括する（第1章）4/19 2．今後の英語教育を展望する（第2章）4/26 3．言語技能の学習と指導（第3章）5/10 4．統合技能の学習と指導（第4章）5/17 5．新時代の英語教育を支える学術領域（第8章）5/24 6．小学校段階の学習と指導（第5章）5/31 7．中学校段階の学習と指導（第6章）6/7 8．高等学校段階の技能指導（第7章）6/14 * 第9回以降は、履修者による統合技能の学習指導案の発表と検討です。							
[履修要件]							
特になし							
[成績評価の方法・観点]							
授業中に実施する学習指導案の発表と、発表に対する質疑応答に基づきます。必要に応じて課題提出を求めます。詳細は初回授業時に説明しアンケートを行いますので、必ず出席してください。履 外国語教育論演習2(2)へ続く↓↓↓							

外国語教育論演習2(2)

修状況を確認することがあるため、受講時には出席管理機を通してください。

[教科書]

中森誉之『技能を統合した英語学習のすすめ - 小学校・中学校・高等学校での工夫と留意』（ひつじ書房）

[授業外学修（予習・復習）等]

教科書の熟読。

[その他（オフィスアワー等）]

私は、日本の学校英語教育の理論的基盤を構築する仕事をしています。今後本格化する統合技能は私が提案した理論が採用されていると聞き及んでいます。語彙・文法の位置付けや、技能の学習指導に関しては、現職教員向けの講座でも広く知見を還元しています。英語教育関係の進路を志望する方、英語教育を経験・勘・思い付きではなく最新・最先端の学術的な視点から客観的に見つめ直したい方、塾や家庭教師で英語を教えている方、言語習得論を考究したい方、その他純粋に興味関心がある皆さんの受講を歓迎します。なお、この授業では教授対象言語を英語として展開していきますが、適宜自らの興味がある外国語（日本語を含む）で置き換えて考察しても良いです。この授業では、外国語学習の一例として英語を取り上げますが、自らの問題意識がある外国語に置き換えて考察を進めてください。試験においても、外国語としての日本語や中国語、その他どの外国語について解答してもかまいません。英語に限定するものではありませんので、よろしくお願いいたします。

[主要授業科目（学部・学科名）]